

群馬県文化財研究会

代表者 桑原 稔

所在地 〒371-0803 群馬県前橋市天川原町1丁目30-10

設立年月日 1993年4月1日

【設立趣旨・活動目的】

主に、群馬県内におけるあらゆる文化財を調査すると共に研究し、その保護を計るための活動を行いつつ、県民の文化財意識の高揚を計ることを目的とする。

【沿革】

平成5年4月1日設立し、現在に至っています。

【活動内容】

設立と同時に、建造物に興味を持つ数人の同好の士が集まって、同会の中に「古民家調査委員会」を設置し、平成5年4月から月1回の割合で、群馬県全域に散在する古民家の調査に乗り出した。こうして平成15年9月までに、123件の古民家調査を行った。これらの調査民家は、『上州の重要民家をたずねる・北毛編』・『同・西毛編』とし、地域別に3分割して平成21年9月25日に、最後の東毛編を発刊したところです。

なお、上記調査民家のうち特別重要な民家は、群馬県文化財研究会選定の「特別貴重文化財」として、合計21件の民家所有者に対して由緒書・復原平面図・写真等を添付した「認定証」を交付しています。

毎年4月に総会を開き、前年度の活動報告や会計報告を行うと共に、次年度の活動案や予算案を審議し了承をいただきます。また、4月と10月の年2回当会の機関紙「群文研新報」を発刊致します。なお、毎年年度末の3月には、当年度に行った物件の調査報告書『ビエネス』を発刊しています。

【活動上の課題と今後の展望】

7～8年程前まで、常に250人前後いた会員が、バブル崩壊後の経済不況のためか？徐々に会員が減少し現在100人前後になってしまいました。従って、文化財の調査・研究は、全て無報酬・手弁当で行っています。

古民家の調査・研究が一段落したので、現在は古民家と同じ調査員によって、県内に散在する社寺建築の調査・研究を始めております。群馬県内における合併前の市町村は、全部で70市町村ありました。旧市町村の1市町村当たり、2～3件の神社・寺院を取り上げて現地

調査を行い、将来『上州の重要寺院をたずねる』と『上州の重要神社をたずねる』の2冊の本を出版したいと思っています。



彦部家住宅（国指定重要文化財）



本町2丁目東区民会館



福島松寿家（群馬県文化財研究会選定特別貴重文化財）